

マネージメント情報

※ 新しいフリーストール牛舎の換気システム

先日アメリカからみなさんお馴染みの驚山さんが事務所に来られた時に新しいフリーストール牛舎の換気システムについて情報をいただいたのでご紹介します。

今回は今年の春に紹介しましたサイクロンという大型ファンを設置したお客さんの農場があり、その調整の為にアメリカからディーラーのエンジニアの方も一緒でしたので、今までよりも詳しいお話を聞くことができました。



サイクロン 50 インチ

サイクロン 72 インチ

最新のフリーストール牛舎の換気システムは自然換気ではなく、驚くことに閉鎖牛舎のトンネル換気ということでした。現在道東でも一般的に普及している繋ぎ牛舎のトンネル換気のフリーストール版ということです。

フリーストール牛舎もこの辺りで良く見かける縦長の2ロウ3ロウ牛舎ではなく6ロウ8ロウというように横に広くなり牛舎の形は細長い長方形から正方形に近くなっているそうです。

理由は換気システムの効率とコストが安くなるという事でしたが、写真のように換気扇の大きさとその数に圧倒されます。

換気による牛群管理とランニングコストを比較するとそのコストは全く問題無いという回答でしたが、これからの検討(検証)課題かな？と考えています。

今回紹介していただいた写真を紹介します。



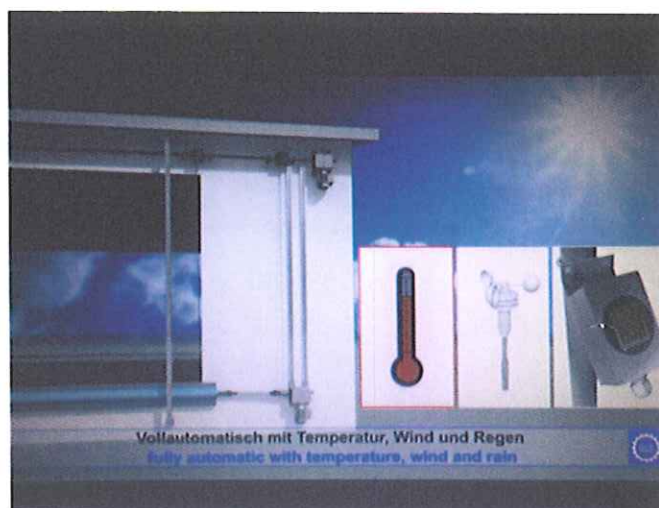


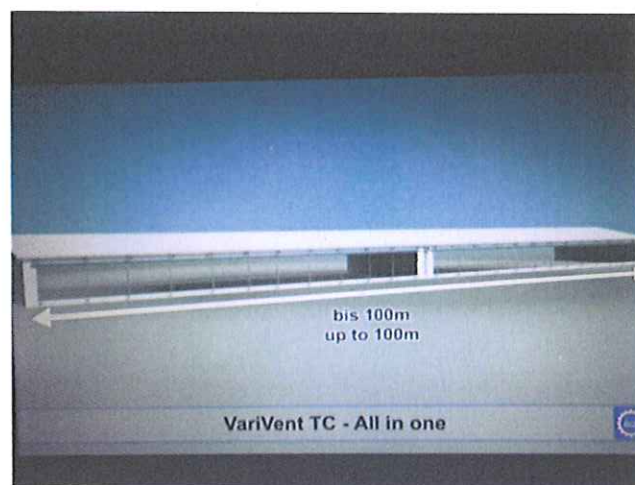
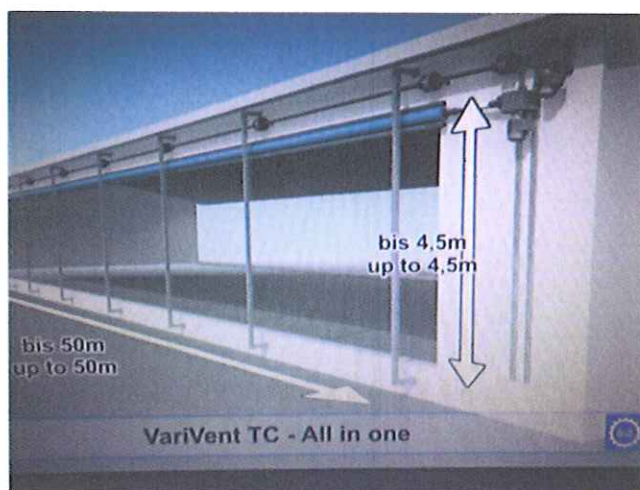
縦長、横長、いずれの牛舎でも換気の効率を考えて、空気の流れが最小限になるように天井を低くする効果を考えて換気の流れに対して直角にパネルとかカーテンを設置しています。

また、換気扇と牛舎のカーテンはコントローラーで制御されていて、入力されたプログラムで①気温②湿度③風速④天気によって 365 日、24 時間自動的にコントロールされるということで、いままでのただ温度設定で換気扇が回り出すというシステムではなく、全く異次元の換気システムです。

また、入力した条件を感知して、ファンの動き(方向と強弱)とカーテンの上げ下ろしや、カーテンの止める位置も連動させて自在にコントロール可能というすぐれものです。

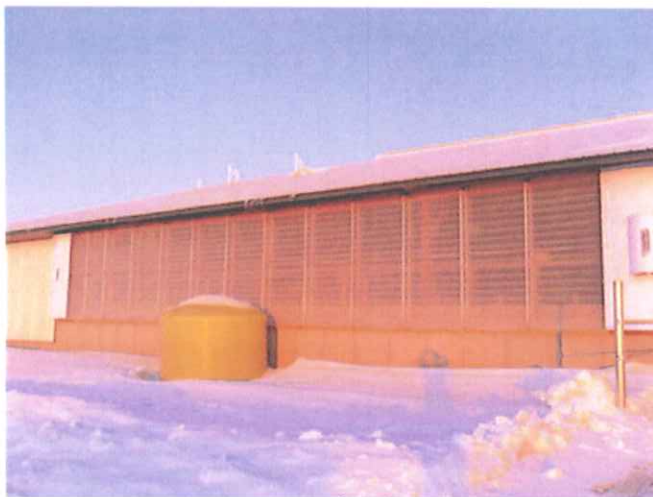
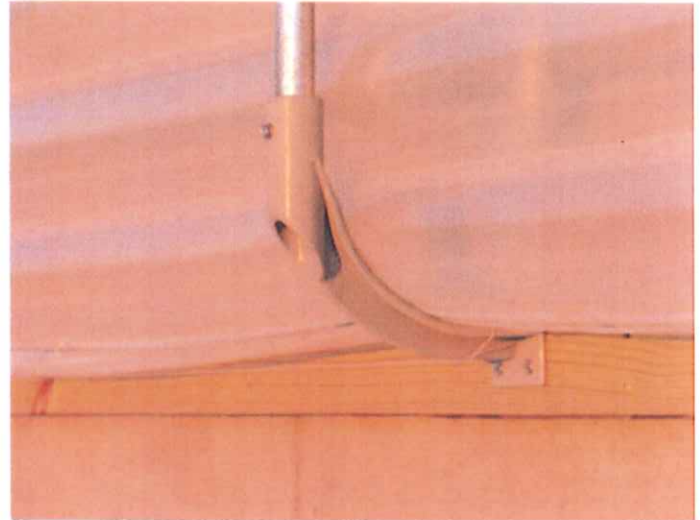
イメージできるように CG の画像で示します。





高さ 4.5m で最大 100m の長さの牛舎を自在にコントロール可能ということです。

カーテンも一枚ではなく、なかに空気層をもった立体型のカーテンもあり、陽がはいることで牛舎内も明るく、空気層があることで断熱や遮熱の効果があり、この部分でも既存のものとはずいぶんと進化していることがわかります。



※作業事故

先月、農場にいた時に蹄浴で使用している硫酸銅の溶液が「目に入った」と息子さんが勢いよく処理室に入ってきました。その一週間程前に家保から消石灰による失明事故のパンフレットが廻ってきたことを思い出し、すぐ生理食塩水で目の洗浄をしました。

その後すぐに眼科に行き診察してもらいましたが、異常なしという事で本当に良かったでした。調べて見ると、水道水(流水)で15分洗い流してから、直ちに眼科に行くというのが正解とのこと。農場には普段は気にならないのですが、危険なものが本当に沢山あります。特に目の事故は最悪失明という事になりますので、面倒でも防護メガネを常用していただきたいと思います。

※未経産牛から判別精液での採卵(パージンフラッシュ)

今月から判別精液をつかった未経産牛からの採卵を集中して実施する予定です。成牛ではなかなかうまくいきませんでした。今回をステップにホルスタインの雌判別卵を沢山回収したいと意気込んでいます。みなさんに良い知らせをできるように！と考えています。

・早いものでカレンダーも残すところ一枚ちょっと…。 もうーがんばりです。

23. 11.22. Y